

## 1 学校教育目標

○やさしく ○かしこく ○たくましく

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちにとって、学ぶ楽しさが味わえ、成長を実感できる学校</li> <li>○ 子どもたちにとって、安全で安心感のもてる学校</li> <li>○ 保護者や地域にとって、誇りと信頼がもてる学校</li> <li>○ 教職員にとって、教育者としての喜びが味わえる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ やさしい子…互いの人格を尊重し、心豊かな子</li> <li>○ かしこい子…自ら学び、よく考えようとする子</li> <li>○ たくましい子…目標をもち、最後までやり遂げる子 健康な生活を送ろうとする子</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己研鑽に努め、キャリアに応じた力量を身に付け、プロとして専門性の高い教師</li> <li>○ 児童・保護者・地域の願いを受け止め、深い児童理解ができる教師</li> <li>○ 教育公務員として、組織の一員として課題解決に努め、協働して職務を遂行できる教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <学校の現状>

- 統合6年目を迎え、全校児童が、鹿浜五色桜小学校入学となった。
- 明るく素直で、人なつこい児童が多く、あいさつができる児童が比較的多い。新しい生活様式も次第に定着してきた。
- 知・徳・体バランスのとれた児童の育成に、一層力を入れていく必要がある。
- コロナ禍においても、地域・保護者ができることを、模索していただいている。本来、地域の子供会も大変盛んである。
- 開かれた学校づくり協議会を中心に、「花いっぱい活動」「土曜スクール」等に、これまでも大いに協力していただいている。

### <成果>

- コロナ禍において、新しい生活様式が、定着してきている。 ○足立スタンダードノート指導の充実（ほぼ全員目標達成）
- ICT機器を使用した授業の日常化 ○MIMの指導の充実 ○幼保小中の連携の深化 ○5周年を祝う愛校心の醸成
- SWPBSの取組を充実させ、あいさつ運動・片付け運動・給食準備運動・学習準備運動など見える化
- 学校内外の情操を育てる美しい環境づくりの維持 ○英語の普及・環境整備・研修の充実

### <課題>

- 学力向上の取り組みは定着してきたが、区・都・国の平均値に届かない。学習したパターンではない形式や応用問題などの課題に弱く、学習したことを活用することが課題である。
- 言葉の稚拙さや語彙力の少なさによる文章力・表現力の育成、さらには相手への思いやりや規範意識の醸成が課題である。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	幼、保、小、中の連携	○	○	○	○	○
3	心の教育	○	○	○	○	○
4	オリンピック・パラリンピック教育			○		

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
区学力調査通過率を向上させる。		77% (再調査90%)	79.5%	達成基準をわずかに超えることができた。 10月再調査はコロナ禍で中止。6(1)参照			○		
B 目標実現に向けた取組み									
新・ 継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続・ 改善	授業改善	主要教科	通年授業観察 年3回の自己 申告授業観察	全教員(管理職・教科指導専門員) 課題解決的な学習を目指した 授業(資質・能力の明確化) 7月区調査の意識調査分析 ICTの活用 足立スタンダード(ノート活用) 授業時数確保	授業観察 による 単元観点 別テスト	年3回以上指 導案の作成と 授業の振り返 りの実施 単元ポートフォ リオの平均正答 率80%以上	・年間一人3回合計70 回以上授業観察と振り 返りを実施 ・現段階の平均正答 率は、国語は82.7%、 算数は78.5%、全体 で80.6%だった。	・足立スタンダード9割 定着。やや形式的な 側面があり、言語活動 の重視と主体的な学 びが課題である。	○
継続	基礎・基 本の徹底	国語・算 数	さくら教室 週2回 パワーアッ プ タイム毎日	学力向上部を中心とした全校体 制 学年間連携 算数東京ベーシックドリル 7月の区調査の結果からSP 表・AD層の差の分析 1年生はMIM ポートフォリオの活用 正答数の低い課題の取組 年間計画の見直し	MIM 通年 プレ調査2 月 東京ベー シックド リル	MIM 3rd 0人  プレ調査70%以上  東京ベーシッ クドリル診断 テスト70%以上	・MIM 3rdは、2人。 ・プレ調査76.0% ・東京ベーシックドリル は、全学年平均63% に留まった。しかし、2 回目を実施した診断 テストは3.3～14.2ポイ ントの伸びがあった。	・MIMは、様々な方法 で繰り返したことが成 果となった。 ・プレ調査も目標をわ ずかに上回った ・東京BDは、70%を 越えられなかったもの の、各学年の確実な 伸びは見られた。	○

新規	学校図書館の活用	全教科	通年 全学年	図書館を使った調べる学習・調べる学習コンクールへの応募 教科横断的な指導	年2回以上 図書館を活用した授業の実施	成果物の掲示 や発表	・調べる学習コンクールへの応募数は昨年の約10倍に増加 ・成果物は廊下掲示・学習発表会を実施	・調べる学習の方法を全学年に指導したことがよかった。 ・調べるのが面白いと感じた児童が増えた。	◎
新規	家庭との連携	全教科	通年 全学年	10分×学年 家庭学習の手引き 家庭生活表の活用	家庭学習 ノートの提出	年度末までに 家庭学習ノート100%提出	・まだ、8割に満たない。	・手引きを作成し第一歩を踏み出した。自己のふり返りを目指す。	△

<b>重点的な取組事項－2</b>		幼、保、小、中の連携							
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>		<b>達成度</b>	
地域の「基礎学力の定着」「学習・生活規律の定着」「規範意識の醸成」に取り組む。		【小中】 年間2回の連携 日常的連携 【幼保小】 学校紹介動画等の作成		・縮小した取組であったが、計画通り実施した。		・感染予防のため、例年の計画は中止、できる範囲で効果的に行うことができた。		◎	
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>									
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>		<b>達成度</b>	
小中連携	年間2回の連携訪問 (小→中へ) (中→小へ)	・管理職・担当教員による連携会議で情報交換 ・6年算数科の指導案検討、研究授業、協議、さらに意見交換カードの活用		・情報交換は、日常的に行うことができた。 ・6年生の指導案検討は、全教員が事前・実践・事後の協議に参加し、充実した。		・校内研究を充実させたいという教員の思いが強く残った。新学習指導要領に則った授業について講師を招いて学びたいという思いをもった。		◎	
保育園・幼稚園との連携・交流	・年1回の研修・交流 ・園児の学校体験	・2月ごろ、教員の保育参観とミニ協議会 ・小学校児童による学校紹介動画等を作成し園児に送る。 ・園児の学校施設見学		・管理職による連携・情報共有を行った。 ・保育園の保護者会は中止。 ・1年生は園児に向けて、学校紹介動画を作成、配付した。		・幼稚園交流は一歩進んだ。 ・コロナ禍でも、動画を通して、一年生と園児の交流をすることができたのは、よかった。園児が小学生になりたいという意欲をもち、一年生も園児を迎えるという自覚をもつことができた。		◎	

<b>重点的な取組事項－3</b>		心の教育の充実							
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>		<b>達成度</b>	
いじめ・不登校ゼロを目指す。		・年3回のいじめ調査において、早期発見・早期解決 組織的対応 ・年度末完全な不登校0		・計画通り実施した。 ・年度末現在、不登校の傾向がある児童は、10名近い。		・感染予防のための欠席もあり、指導が難しい状況だった。		△	

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
規範意識の育成	・児童アンケートの肯定的評価 80%以上	・日常の規範意識指導 ・新しい生活様式の遵守 ・SWPBSの活用による取組の見える化	・新しい生活様式は、かなり定着している。 ・児童アンケートでは88%。 ・SWPBSを週目標につなぎうまく活用することができた。	・分散登校中の組織的な指導が効果的だった。 ・個々の差が大きいので、定期的に繰り返しの指導は必要である。	○
あいさつ運動	・6年生を中心とした日常的あいさつ運動 ・児童アンケートの肯定的評価 80%以上	・率先垂範 あいさつの励行・継続指導 ・目的意識をもった運動 ・運動の成果の見える化	・挨拶をする児童は増えている。 ・6年生が自主的にあいさつ運動に取り組んだことは、評価できる。児童アンケートで肯定的評価が95%を越えた。	・挨拶をする児童が、増えていることは嬉しい。6年生が、日常の手本となったことは全校児童により効果をもたらした。	◎
道徳の授業の充実	・いじめの未然防止のための授業年3回実施 ・道徳のノートを全学級で活用	・考える道徳への授業力向上 ・道徳ノートによる児童自身の成長を実感する振り返り	・予定通り実施した。 ・ノートではなくワークシートを活用した学年がほとんどであった。	・自己を振り返ることの重要性を認識し、どのように振り返るかをさらに検討し子供の成長につなげる。	○
楽しい学級づくり	・年2回 Hyper-QUの実施 ・2回目の満足群5ポイントアップ	・人間関係形成力の指導 ・特別支援教室との連携 ・異学年交流の計画的実施 ・講話・人権集会等の実施 ・児童自らの振り返り	・5ポイントアップの学級はなかった。 ・親和的な集団との診断があった学級は、2割ほどであった。 ・Zoomをうまく活用できた。	・学級が安定していると学力の向上に繋がるため、年2回 Hyper-QUを活用した取組を強化したい。達成基準を検討する	△

重点的な取組事項－4					
オリンピック・パラリンピック教育の充実					
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
4テーマ（精神・スポーツ・文化・環境） 4アクション（学ぶ・観る・体験・支える） に沿って学び、記憶に残る年にする。	・各学年、年1回以上ゲストティーチャーを招致する。	3年：スポーツ推進委員によるボッチャ教室 4年：オリンピックによるバレーボール教室 5年：チームマネージャーによるパラトライアスロン教室	・感染症予防のため、中止・延期がある中で、3学年が実施することができた。	△	
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
オリンピック観戦に向け、4×4に沿って学び期待をもつ	各学年、年1回以上ゲストティーチャーを招致する。	・オリンピック・パラリンピックノートの活用 ・体験型学習や調べる学習 ・教科横断的な指導	・オリンピック・パラリンピックノートを活用し、貴重な学びを記録した。	・外部講師を招いての実施以外のオリ・パラ教育は概ね進めることができた。	△

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 【学力の課題】

- ・学校全体の通過率は国語・算数ともに79.5%、平均正答率は国語76.6%、算数74.6%でした。
- ・国語については、どの学年も、説明文・物語文の読み取り・要旨・文章構成・情報収集・書くに課題があります。
- ・算数については、どの学年も、図形・グラフ・わり算に課題が見られます。さらに、割合・単位・時刻と時間等にも課題があります。

#### 【学力の対策・方向性】

- ・授業で9割の児童がねらいを達成できるよう、新学習指導要領に則った授業改善を行います。特に課題解決的な学習を重視した授業展開を行い、児童が自ら考えを説明したり、考えを書きまとめて発表したりする活動、児童が自分で数直線などに表したり、図を書いて説明したりする活動を多く取り入れます。
- ・基礎的・基本的な内容については、パワーアップタイムや放課後さくら教室等で繰り返し行い、苦手単元はさくらタイムで克服します。
- ・朝は、読書から始め、落ち着いた環境をつくり、学習に向かう姿勢を整えます。

今年度、コロナ禍において、様々な制限がある中、教員は、学習をよく工夫して行い、標準時数を上回る授業を行うことができました。子供たちは、日々確実に成長し、期待を上回る成長の姿を見ることができました。

今後は、特に、児童が自らの課題を解決して、主体的に学ぶ力と人間関係形成力の育成に力を入れていきます。予測が難しい時代でも、協働して課題を解決し、たくましく生きる児童を育てるためにも、この点の力を付けることが大切なのではないかと考えています。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

コロナ禍において、多くのご心配をおかけしました。また、多くのご協力をいただき、心から感謝いたします。今後さらに、どのような子供たちを育てていったらよいのか、目指す児童像を保護者や地域の皆様と明確に共有していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度、GIGAスクール構想が進み、児童が学習でパソコンを使うことが日常的になってきました。SNS東京ルール、SNSあだちルール等に基づき、ご家庭でのSNSルール作りとその遵守にご協力をお願いします。

また、開かれた学校づくり協議会では、2点ご意見をいただきました。1点目は交通安全です。登下校の送り迎えをしていただくご家庭も多く、助かります。児童も通学路を意識できるようになっています。一方で放課後、児童の交通事故が複数起きています。大事故にはなっていませんが、引き続き交通安全の指導をしていきますので、ご家庭でのお声かけをお願いします。

2点目は、学校の周りの花壇・樹木についてです。区役所施設課と点検しました。開校以来、花壇の土が目減りしてきたこと、桜の木の老化が目立っていることなどが分かり、業者を入れて、改修しました。学校をいつも見てくださることを嬉しく感じています。また、ご意見をいただきましたので、次年度、花壇・樹木の手入れをお願いするグリーンボランティアを募りたいと思います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### (3) その他（学校教育活動全般について）

今年度から、新学習指導要領に則った学習を行っています。前年度から引き継いでおりますように、行事の精選をする必要があると思います。慣例にとられることなく、次代を担う子供たちに必要な教育を力強く推し進めて参りたいと思います。